

# 事業等のリスクへの対応

当社グループは、その広範にわたる事業の性質上、市場における複合的なリスク、信用リスクや投資リスクをはじめ、様々なリスクに晒されています。これらのリスクは、予測不可能な不確実性を含んでおり、将来の当社グループの財政状態及び業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。当社グループは、リスク管理を経営の重要課題と認識し、当社グループにおけるリスクマネジメントの基本方針を定めると共に、必要なリスク管理体制及び管理手法を整備し、これらのリスクに対応しています。

リスク項目	リスク項目
(1)マクロ経済環境及びビジネスモデルに関するリスク (▶ Page 44)	(7)資金調達に関するリスク (▶ Page 30)
(2)市場リスク (▶ Page 44)	(8)税務に関するリスク
①為替リスク	(9)重要な訴訟等に関するリスク
②金利リスク	(10)法令・規制に関するリスク
③商品価格リスク	(11)人材に関するリスク (▶ Page 78)
④株価リスク	(12)環境・社会に関するリスク (▶ Page 70)
(3)投資リスク (▶ Page 66)	(13)自然災害に関するリスク
(4)固定資産に関する減損リスク	(14)情報システム及び情報セキュリティに関するリスク
(5)信用リスク	
(6)カントリーリスク	

詳しくは有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

[https://www.itochu.co.jp/ja/files/security\\_100.pdf](https://www.itochu.co.jp/ja/files/security_100.pdf)



## カントリーリスク



2024年3月末の主な国別投融資保証残高は当社ウェブサイトをご参照ください。

[https://www.itochu.co.jp/ja/ir/financial\\_statements/2024/](https://www.itochu.co.jp/ja/ir/financial_statements/2024/)

当社グループは、商品取引や事業活動を行う海外各国・地域の政治・経済・社会情勢等に起因して生じる予期せぬ事態、各種法令・規制の変更等による投資先の保有資産等の国家収用や送金停止等のカントリーリスクを有しています。そのため、個別案件毎に適切なリスク回避策を講じると共に、当社グループ全体として社内の国格付に基づく国別の国枠を設定し、国別の総エクスポージャーを当社グループの経営体力に見合った総枠で管理すること等により、リスクのコントロールに努めています。

## 中国関連ビジネスについて

当社グループの2024年3月末時点の中国向けエクスポージャーは1兆5,159億円です。そのうち、多くのポジションをCITIC向け投資が占めています。また、当社の中国関連ビジネスにおける利益は、CITIC関連、中国向け鉄鉱石取引、その他のトレード・事業投資の3つで構成されています。

政府系コングロマリットであるCITICの業績は、従前より中国政府の国有企業強化の方針も受け、CITIC Bankを中心に堅調に推移しています。CITICの主力事業である金融関連事業は、CITIC業績の約8~9割を占めており、その中核となるCITIC Bankの業績は、2015年に当社が出資して以降9年連続で増益となっています。足元においては、不動産市況の低迷が続く中でも不良債権比率は徐々に改善、不動産法人向け貸付残高も遞減しており、中国政府との関係性を活かして適切にリスク管理が実施されていると考えています。当社の連結決算においては、CITICの株価水準も踏まえ、毎四半期CITIC投資の回収可能価額を算定し、帳簿価額を上回ることを確認しています。将来キャッシュ・フローの見積りにおいては、中国経済の成長見通しを踏まえた収益性や中国金融事業に関する規制の影響を考慮しています。

中国向け鉄鉱石取引は、1960年代からの創業となり圧倒的なコスト優位性を持つプロジェクトから創出されています。現在は、不動産市況の低迷に加え、個人消費等の内需も力強さを欠いており、中国政府の景気刺激策の動向等を踏まえた需給バランスにも留意しながら、リスク低減に努めています。

また、その他のトレード・事業投資は、中国国内での繊維や化学品等、生活消費分野を中心に取組んでいます。今後も底堅い利益貢献を見込めるCITIC関連及び中国向け鉄鉱石取引を除くと、その他の中国関連ビジネスの全社利益に対するインパクトは極めて限定的です。